2012上級研修全体マップ

研修の目標
- ■ 教育実践上の課題（コースデザイン・教材制作・授業改善など）を解決するためのプロジェクトを自立的に遂行するために必要な能力を身につける。
- ■ 地域の日本語教育のリーダーとして活躍するために必要な意識・能力・発信力を高める。

研究プロジェクト

事前準備 → 研究テーマ発表会 10/30 → 現状分析 → シラバスデザイン → ユニットデザイン → プロトタイプ作成 → プロトタイプ評価 → 企画書第一稿完成 → 最終報告会 12/17 → まとめ 12/19 → プロジェクト継続 → 中間報告 2013年3月 → 最終報告 2013年6月

- 日本語教育事情レポート
- 研究テーマ発表会資料
- 企画書 1. 背景と目的
- 企画書 2. 現状分析
- 企画書 3. 制作物の概要
- 企画書 4. 制作物の構成
- 企画書 5. プロトタイプの概要
- 企画書 6. 作業計画

- 最終報告会資料

ポートフォリオ

自己評価チェックリスト / マスタースケジュール / マスタースケジュール / 振り返りシート / 自己評価チェックリスト / マスタースケジュール / 振り返りシート / 自己評価チェックリスト

教授法

第1フェーズ

- お互いを知る
- 研修の目的や内容を理解し、研修期間中の目標設定と計画を立てる

教授法(1) オリエンテーション＆ワークショップ 10/26,27

教授法(2) 自国の日本語教育事情 10/29

第2フェーズ

2. 1 コースデザイン/カリキュラムデザインに必要な知識を学ぶ

2. 2 方法論を学ぶ

2. 3 プロジェクトへの応用を考える

教授法(3)(4) コースデザイン 10/31,11/1

教授法(5)(6) 学習目標設定とCan-do 11/5,6

教授法(9)(11) 学習を評価する 11/12,13

教授法(7)(8) 第二言語習得研究 11/8,9

教授法(12)(14) 教材分析 11/14,16

教授法(13)(15) テスト作成 11/15,19

教授法(17)(18) 授業デザイン 11/21,22

教授法(19) 中間レビュー 11/26

教授法(10) ICT 11/12

教授法(16) 文化 11/20

第3フェーズ

プロジェクトを豊かにするための情報収集と整理

- 研修成果を発表する
- 研修成果をふりかえる
- 研修後の計画を確認する

教授法(20)(21) 教師ネットワーク論 12/4,10

修士コース 第22回 日本言語文化研究会「自国の日本語教育を語る」 12/1

特別講義／その他

特別講義(1) 文献検索の基礎 11/2

特別講義(2) 教材開発とメディア 11/19

特別講義(3) 異文化コミュニケーション 11/27